

# 鳳徳だより

—学校評価—

平成30年3月20日



京都市立鳳徳小学校  
校長 木原 加代

TEL : 075-491-3592  
FAX : 075-491-0616  
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/hotoku-s/>



## 平成29年度 後期学校アンケート結果のお知らせ

日ごとに暖かさを感じられるようになりました。平素は本校教育に何かとご支援ご協力いただきましてありがとうございます。

保護者の皆様には、お忙しい中、学校アンケートにご協力いただきありがとうございました。保護者アンケート、児童アンケートをふまえ、継続していくべきところ、改善していくべきところを明らかにし、今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。

また、アンケート結果をもとに、学校運営協議会の皆様と1年間の教育活動を振り返り、皆様から適切なご助言やご提案をいただきました。

### ★児童アンケート★

児童アンケートは、学校生活に関する8項目、家庭生活の5項目、合計13の質問を行いました。前期と比べてポイントが上がったのは、「たのしくがっこうにきている。」「かぞくやせんせい、ちいきのひとにじぶんからすんであいさつをしている。」「ものをたいせつにし、あとかたづけをしている。」「きまりややくそくをしっかりまもっている。」「いえでののがくしゅうをいつもしている。」「かぞくのいちいんとしておてつだいをしている。」「おうちのひととじぶんのことやがっこうのことをはなしている。」の7項目でした。

	質問項目	実現度
学校生活のこと	たのしくがっこうにきている。	6.1
	かぞくやせんせい、ちいきのひとにじぶんからすんであいさつをしている。	5.5
	ともだちとなかよくしている。	6.3
	あきらめずにさいごまでがくしゅうしている	5.7
	ものをたいせついにし、あとかたづけをしている。	5.4
	きまりややくそくをしっかりまもっている。	5.6
	はっきりとじぶんのおもいをはなしている。	5.2
家庭生活のこと	あいてのはなしをしっかりきいている。	5.8
	いえでののがくしゅうをいつもしている。	5.7
	いえでほんをよんでいる。	4.4
	かぞくのいちいんとしておてつだいをしている。	4.9
	おうちのひととじぶんのことやがっこうのことをはなしている。	5.6
	はやね・はやおきなどけんこうをかんがえてすごしている。	4.8

### ★保護者アンケート★

保護者アンケートは、子どもと学校のこと12項目、子どもと家庭のことの6項目の質問を行いました。(重要度・実現度の最高値は「7」、ニーズ度:重要度-実現度の相関、最高値は「49」)  
「子どもと学校のこと」の多くの項目で、前期よりポイントが上がりました。保護者の皆様が本校教育に

多大なご理解・ご協力いただいた結果だと思います。感謝申し上げます。

	質問項目	重要度	実現度	ニーズ度
子どもと学校のこと	子どもは楽しく学校に通っている。	6.8	7.8	1.4
	子どもは家族や先生、地域の人に進んで挨拶をしている。	6.5	7.2	5.2
	子どもは友だちと仲よくしている。	6.6	7.8	1.3
	子どもはあきらめずに最後まで学習している。	6.5	6.9	7.2
	子どもは物を大切にし、後片付けをしている。	6.5	6	13
	子どもはきまりや約束を守っている。	6.5	7.1	5.9
	学校はわかりやすい授業をしている。	6.6	7.2	5.3
	学校は健康や安全に配慮した教育活動を行っている。	6.5	7.3	4.6
	学校は人権を大切にした教育活動を行っている。	6.4	7.4	3.8
	学校は保護者と連携を密にしている。	5.9	6.9	6.5
子どもと家庭のこと	学校は保護者と連携した取り組みを行っている。	5.7	7.1	5.1
	学校は方針や取組をわかりやすく伝えている。	5.9	6.8	7.1
	子どもは早寝・早起き等、健康を考えて過ごしている。	6.4	6.5	9.6
	子どもは家庭学習の習慣が身についている。	6.5	6.8	7.8
	子どもは家庭で読書をしている。	6	5	18
	子どもは家庭で手伝いをしている。	5.9	5.2	16.5
保護者	保護者は子どもと触れ合う機会をもっている。	6.3	6.5	9.5
	保護者はPTA活動や地域行事に参加している。	4.6	6	9.2

この二つのアンケートから、まずは良かった点について分析します。

児童アンケートでポイントが上がった4つの項目は、まさに本校児童の良さを表していると思います。子どもたち自らが「たのしくがっこうにきている。」と思っていることが、学校として、とても嬉しいことです。全校児童が集まる朝会や集会でも、本当に上手に話を聞くことができます。また、昨年に引き続き、代表委員会の子どもたちが朝の挨拶運動を1年間頑張りました。また、たてわりグループでいさつ運動に取り組んだことも、前期より実現度が0.1ポイント上がった理由ではないかと考えます。

また、「いえでののがくしゅうをいつもしている。」は、前期より0.2ポイント上がっており、昨年度から全校で始めた自主学習の成果が表れているのではないかと思います。決まった宿題ではなく、何をするかを自分で考えるのは難しいことですが、それを考えるにも思考力が必要です。自分が興味を持てることや継続できることを見つけると、主体的に取り組めます。今後もこの取組を生かして、学年に応じた形で続けていきたいと思います。

次に、ニーズ度の高い点についてです。

「いえでほんをよんでいる。」については、変わらず1番の課題と言えます。学校では、今年度も図書の取組に力を入れてきました。夏休みには、図書館の書架を増やしたり、本の並び方を子どもたちが使いやすいように工夫したりしました。また、北図書館との連携によるブックトークや選書会、教職員による読み聞かせなど、子どもたちが楽しんで本に触れる機会を作りました。図書ボランティアの皆様には、クラスでの読み聞かせやブラックパネルシアターで楽しい時間を作っていました。学校では朝のさわやかタイム等で読書をする時間を作っていますが、家庭では本を読まない児童が多いようです。家庭には、テレビやゲームなど、子どもたちの興味を引くことがあります。今、家庭生活の中に、読書をする時間を見つけ

るのは大変なことかもしれません。しかしながら、読書から得るものは多く、子どものうちに読書をする習慣を身に付けることはとても大事なことだと考えます。ご家庭でも、読み聞かせや図書館の活用等、親子のコミュニケーションの一つとして取り入れていただけたらと思います。

「子どもは物を大切にし、後片付けをしている。」「子どもは家庭で手伝いをしている。」も例年課題として挙がってきます。これについては、それぞれのご家庭のことなので、厳しく見ていただき実現度も低くなりがちなのではないかでしょうか。子どもたちが、「おてつだい」というより家庭での役割を決めて、できたときにほめて家族の一員としての自覚につなげるようにすることも大切なのはと思います。質問項目の表現も工夫の必要があるかもしれません。学校教育においても、子どもたちが学んだことを活かせる場面を作り、頑張ったことを認め合える活動を多く取り入れるようにしています。ご家庭でも、頑張りを認め、ほめる場面が多くあるといいですね。

児童集会



ほかほかコンサート



配食ボランティア



鳳徳タイム



たてわり活動



教職員の読み聞かせ



ありがとうお茶会とコンサート



ブラックパネルシアター



保護者アンケートでは自由記述もご記入いただき、ありがとうございました。紙面の都合上、いくつかのご紹介になりますが、いただいたご意見は全て教職員、学校運営協議会で共有し、今後の取組に生かしていきます。

○学校で感じた楽しかったこと、疑問に思ったことを話してくれるのでアドバイスしています。朝食と夕食は、家族そろって食べてコミュニケーションをとっています。

○学校での人権学習も大切だと思いますが、家庭でも友達関係をどうしたらいいかを話すことも大切です。できれば子ども同士の中でもかかせても解決できることは、見守りたいと思います。

○友達がたくさんてきたようで大変ありがとうございます。みんなで遊べるような工夫をしてくださっているので助かっています。（たてわり遊びやクラス遊びなど）これからも続けていただけたらと思います。

○学年が上がるにつれ、友達との関わり方も少しずつですが進歩しているように感じます。色々なことを自分なりに毎日一生懸命前向きに生活しているのが伝わってきます。その分、休日にゆっくりテレビを見る時間が増えているように思います。親子で外遊びしたり、出かけたり、意識して休日を楽しく一緒に過ごしてあげたいなと思います。

○家庭学習の習慣はついたものの、集中力がなかつたり、なかなか始められなかつたり嫌がって泣きわめいたりと課題が残っています。ですが、興味を持ったことについては、深く知りたい、そのため色々と調べ物をしたり、実際に見に行きたがつたりする姿は今までになかったことで、学校でいろんな友達の姿勢に刺激を受けている様子です。

○学区内の公園での中～高学年男子児童の遊び方が危険なことが多く目に入ります。（幼児がいるすぐそばでのボール遊び等）球技スペースと遊具スペースに公園が整備されるのが一番理想だとは思うのですが、公園も少なく遊び場所も限られているので子どもたちもかわいそうに思います。ですが、公園で事故が起きてからでは困るので、家庭でももちろん指導いたしますが、学校の方でも公園での遊び方について考える機会を作っていただけます。よろしくお願ひいたします。

○クラブ活動が始まるのが楽しみな様子です。希望の卓球があったのが非常にうれしかったみたいです。学童も終わりますし、放課後の過ごし方をまた考えていきたいと思っています。

## ★学校運営協議会から★

2月28日に学校運営協議会が開かれ、委員の皆様に後期の学校アンケート結果を報告するとともに、ご意見をいただきました。毎月の学校だよりやホームページでもご紹介しておりますが、各団体の皆様には、ふれあい活動を始め、授業の中でも大変お世話になりました。今年は、多くの地域の方に子どもたちに向けてお話をいただき、学校と地域のつながりをより一層感じることができました。今後もこのつながりを大切にして、保護者・地域の方と一緒に子どもたちの学びと育ちを育てていきたいと考えております。お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。

- ・あいさつがよくできると、学校保健委員会でも話が出ていた。
- ・見守り隊活動では、多くの方に登下校時見守っていただいて感謝申し上げたい。保護者の方も増えています。特に下校時が少ないので、時々でもいいので見守っていたただけるとありがたい。
- ・例年自転車教室を4年生で行っている。自転車事故も増えているので低学年から乗り方を教えることが大切ではないか。全校に対して実施できるとよい。
- ・子どもインターンシップでは、4年生児童が意欲的に活動していた。
- ・SNSトラブル、ドラッグに関わっての学習は現在6年生で行っているが、問題が低年齢化していることもあります。1年生から学年に応じた内容で教えていくことが必要ではないか。
- ・水難訓練は、今年度の取組を参考に、学校でも授業時間内に実施できるようにしていきたい。着衣泳の経験はとてもよいと思う。7月第2土曜日に戻してもよいが、バザーと合わせて行っていただいているのはありがたい。
- ・ドッジビー大会では多くの参加があった。行事が重なっているので時期の見直しが必要かもしれない。
- ・歩こう会は、コースが歩きやすかった。毎年コースを変えて色々な所を歩きたいという思いがある。